

カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

TEL 03
(5950)
1771

「川崎市立日本民家園」 見学と建築スケッチ

9月2日(木)



くつろぎの空間になる縁側も気候風土適応の工夫の一つ。

川崎市多摩区に全国各地の古民家を移築し一堂に見学することができ、建築の野外博物館「川崎市立日本民家園」があります。東京建築カレッジでは、気候風土適応の工夫の学習と建築スケッチの演習で毎年、出かけています。

今年の日本民家園見学は9月2日、1・2年生合同で行いました。毎年1年生の授業で実施していますが、昨年は感染対策のため中止していました。ほとんどの研修生は初めての来園です。様々な民家、水車小屋・船頭小屋・高倉・歌舞伎舞台など25件を実物で確認できる機会は貴重で、エアコンの無い時代に住まいの環境をどう

のように築いていたのか、実物から学ぶことができました。当日は小雨の天気でしたが、茅葺き屋根の表面をつたう雨のしずくの美しさに注目する研修生もいました。複数の研修生が注目したことから、通気性の良さが挙げられます。「風通しの良さが特徴。夏は涼しくて良さそうだが、冬は寒すぎて生活は大変ではないか」など。また、現代の住宅とは建具(開き戸ではなく引き戸)など細部に大きな違いがあることへの注目や、現代と比較して木の加工で手間がかかりすぎだが、「職人の手わざにしかできない加工の値打ちはもっと認識されるべきだ」といった感想も出ていました。

第27期生募集

2022年4月入学生

第3回入学選考会は
10月27日(水)

応募締め切り10月22日(金)



入学願書など応募書類の取り寄せはお早めに！本校の就職支援は応募後に始まります。本校入学を保障する就職あっせんをご希望の方は早期に応募をお願いします。

意欲あふれる新人を採用・育成したい中小事業主の皆様もお気軽にご連絡ください。

東京建築カレッジ
学校紹介は
こちら ⇒



お問い合わせ

TEL 03-5950-1771

東京土建技術研修センター内、
東京建築カレッジ

東京建築カレッジは年1回、公開講座を実施していますが、昨年は感染拡大防止のため中止しました。今年は2年ぶりに11月6日(土)にオンラインで開催します。

テーマは「なぜ手道具、手刻みから学ぶのか」。建築現場を統括できる人を育てる、本校の教育実践の値打ちを明らかにします。

基調講演は、建築エコノミストの森山高至さん(右写真)が現代の住宅建築の動きの中での東京建築カレッジの存在意義を解説、橋本英夫教務運営委員との対話でカリキュラムの特徴も浮き彫りにします。第二部では各方面で活躍する卒業生4人が学んだことを振り返ります。参加方法はお申し込み者に個別案内します。



基調講演は、建築エコノミスト 森山 高至さん

2年ぶりに公開講座

11月6日(土)、オンラインで

11月6日(土) 13:00-17:00

東京建築カレッジの教育実践
でも手道具から学ぶのか

なぜ手道具、手刻みから学ぶのか

第1部: 基調講演と特別インタビュー
住宅建築の現在と東京建築カレッジ
森山高至 特別インタビュー
教務運営委員 橋本英夫に聞く
カリキュラムのわが今までの経緯

第2部: クロストーク
東京建築カレッジの
魅力と
これから

参加費無料

申込先: TEL 03-5950-1774 / info@token-college.ac.jp

全国青年技能競技大会 赤井指導員が銅賞

9月18日から3日間、島根県で開催された「全建総連第37回全国青年技能競技大会」(出場選手45人)で、第13期生、実技実習指導員の赤井立矢さんが銅賞、第23期生の関根祥智さんが入賞、第17期生の豊島正貴さんが奨励賞をそれぞれ受賞しました。競技課題は「四方転び踏み台」。

前号で紹介した1年生(第26期生)の木造軸組み実習Ⅱ1間(約1・8m)×1間半の小屋作りは、9月25日(土)時点で、ここまで進みました。
柱と梁(はり)で構造をつくる軸組み構造の基本を身体を動かしながら習得します。チームワークの大切さも学びます。「実習棟」実習に入る前の準備学習です。

軸組み構造を体感



1年生の授業から



測量実習は教室で理論や方法を学んだ後、池袋本町公園に移動して行います。

2年生の授業から

近くの公園で測量実習

「実習棟実習」は1学年先輩が建てた実習棟を解体するところから始まります。建物の構造を一つ一つ確認しながら行います。解体実習は見学日としています。受け入れ時間は10時~16時。参加希望の方は事前にご連絡ください。

10月9日(土) 16日(土)

「25期実習棟」を26期生が解体
解体実習見学会



昨年の解体実習の様子。安全教育を受けた後に慎重に進めます。

地域住民の願いから生まれた 池袋本町公園の歴史

本校が毎年、測量実習でお借りしている「池袋本町公園」は1946年(昭和21年)に戦災者のための「応急簡易住宅」が建てられた土地です。68年(昭和43年)に東京都が建て替え工事を開始した際、「子供達の広場を守る会」などの住民運動が盛り上がり、計画は変更されて区立公園が誕生しました。現在は子どもたちが安心して木登りや泥んこ遊び、木工などができる「池袋本町プレイパーク」が併設されています。



本校は「池袋本町プレイパーク」に実技実習授業の廃材を提供しています。

「建築文化論」で溝口明則氏
東京建築カレッジは豊かな視野形成のための教養科目も充実しています。9月16日の2年生「建築文化論」では、溝口

「建築文化論」で溝口明則氏

「平板測量」から始まった測量実習は、角測量、トラバース測量と進みきました(=写真左上)。この授業の一環で、遣り方・墨出しの体験授業もあります。

明則さん(元名城大学建築学科教授)が、長寿命化の技法の観点から古代ギリシア建築との比較も交え、東アジアの木造建築

の特徴をわかりやすく説明しました。(右は配布資料)同内容の授業を別の日に1年生でも実施しました。

